

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■対象項目/変更内容

頁	項目コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
46	2114	IGF-I (ソマトメジンC)	検査項目名	IGF-1(ソマトメジンC)	IGF-I(ソマトメジンC)	測定試薬販売中止による 検査内容変更
			検体量	血清 0.5 mL	血清 0.3 mL	
			保存(安定性)	冷蔵(7日)	凍結(21日)	
			検査方法	ECLIA	RIA 固相法(IRMA)	
			備考	年齢を明記してください。	(なし)	
55 101	3500	尿中ミオグロビン	検査項目名	尿中ミオグロビン [CLEIA]	尿中ミオグロビン	
			保存(安定性)	冷蔵(22日)	冷蔵(21日)	
			所要日数	3~6日	3~7日	
			検査方法	CLEIA	RIA 2抗体法	
			基準値	2.0未満 (ng/mL)	10以下 (ng/mL)	

※ その他の検査要項に変更はございません。検査要項の詳細は次頁以降をご確認ください。

#### ■変更期日

- 2022年3月31日(木)受付日分より

## IGF-1(ソマトメジン C)

IGF-1(Insulin-like Growth Factor I)はソマトメジンCとも呼ばれ、GH(Growth factor Hormone;成長ホルモン)の作用により主に肝臓で産生されるホルモンです。

GHの分泌異常を反映するため、先端巨大症や下垂体性巨人症では高値を示し、下垂体機能低下症や成長ホルモン分泌不全性低身長症(下垂体性低身長、成長ホルモン欠損症)では低値を示します。そのため、GH分泌不全・分泌過剰疾患の診断やモニタリングに有用であり、「先端巨大症および下垂体性巨人症の診断と治療の手引き」には診断基準のひとつとして記載されています。

IGF-1はGHに比べ、運動やストレス、睡眠、食事の影響をほとんど受けず、結合タンパクと結びついていることから血中半減期が長く、日内変動が少ないとされています。一方で、年齢や性別によって変動がみられるため、血中IGF-1値を評価する際は、健常人の年齢、性別基準と照らし合わせて判断する必要があります。

### ■検査要項

項目コード	2114
検査項目名	IGF-1(ソマトメジン C)
検体量	血清 0.5 mL
容器	→01
保存方法(安定性)	冷蔵 (7日)
所要日数	3~6日
検査方法	ECLIA
基準値	下記参照
検査実施料	218点*1(「D008」内分泌学的検査「42」)
判断料	144点(生化学的検査(Ⅱ)判断料)
備考	年齢を明記してください。
検査委託先	エスアールエル(→5)

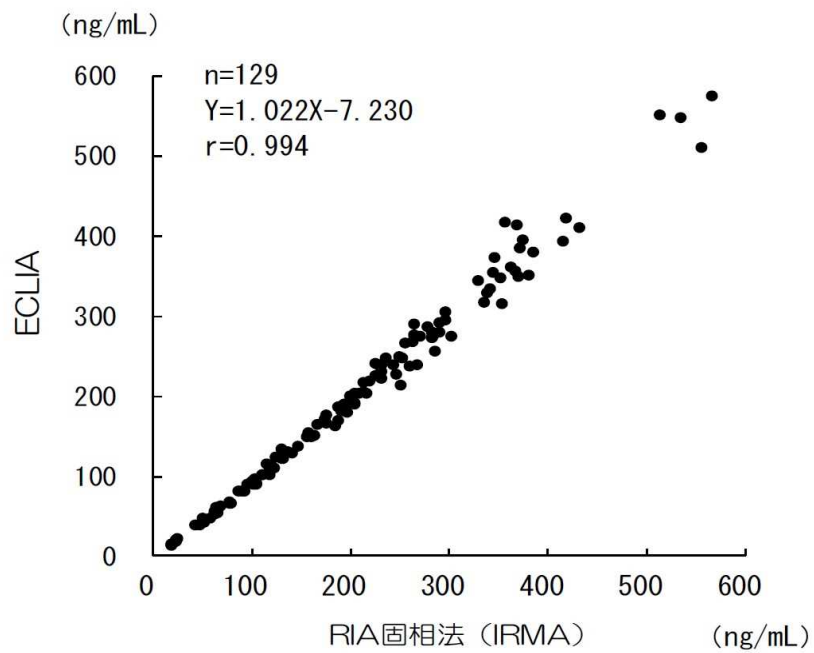
\*1:2022年3月時点の実施料です。2022年4月より212点となります。

### ●IGF-1(ソマトメジン C)年齢別・性別における基準値

(単位: ng/mL)			(単位: ng/mL)			(単位: ng/mL)		
年齢(歳)	男性	女性	年齢(歳)	男性	女性	年齢(歳)	男性	女性
0	11~149	15~154	26	119~329	146~336	52	86~242	78~213
1	14~148	23~186	27	116~322	141~328	53	85~240	77~212
2	18~154	32~213	28	114~315	137~320	54	84~239	76~211
3	24~164	40~227	29	111~309	133~312	55	84~238	75~210
4	32~176	48~238	30	109~303	129~304	56	83~237	74~208
5	44~193	56~252	31	107~297	126~297	57	82~236	73~207
6	55~215	69~287	32	105~292	122~290	58	81~235	72~205
7	63~247	89~357	33	103~287	119~283	59	80~233	71~203
8	72~292	111~438	34	102~283	115~277	60	79~232	70~201
9	84~350	133~517	35	100~279	112~271	61	77~230	69~198
10	99~423	155~588	36	99~275	109~265	62	76~228	68~196
11	113~499	175~638	37	97~272	106~260	63	75~226	66~194
12	125~557	188~654	38	96~269	103~254	64	73~224	65~191
13	133~579	193~643	39	95~266	100~250	65	72~221	64~188
14	138~570	193~625	40	94~263	98~245	66	70~219	62~186
15	141~552	192~614	41	94~261	95~240	67	68~216	61~183
16	142~543	192~611	42	93~259	93~236	68	66~213	60~180
17	142~540	191~599	43	92~257	90~233	69	65~209	59~177
18	142~526	188~574	44	92~255	88~229	70	63~206	57~175
19	143~501	182~539	45	91~253	87~226	71	61~202	56~172
20	142~470	175~499	46	90~250	85~224	72	58~198	55~170
21	139~436	168~459	47	90~250	83~221	73	56~194	54~167
22	135~405	161~425	48	89~248	82~219	74	54~190	53~165
23	131~379	155~397	49	88~246	81~218	75	52~185	52~163
24	128~356	151~375	50	87~245	80~216	76	50~181	50~160
25	125~337	147~358	51	87~243	79~215	77	48~177	49~158

## ■新旧二法の相関

### ●IGF-1(ソマトメジン C)



(エスアールエル検討データ)

## ■参考文献

Isojima T, et al: Endocr J 59(9):771~780, 2012. (臨床的意義参考文献)

# 尿中ミオグロビン〔CLEIA〕

ミオグロビンは主に心筋や骨格筋に存在する分子量約 17,500 のヘム蛋白質で、筋組織内において酸素の運搬や貯蔵を行う物質であり、心筋や骨格筋に障害が起きると血中に逸脱されます。血中に逸脱したミオグロビンは、腎臓より速やかに尿中に排泄されることから、心筋梗塞や横紋筋融解症などで高値を示す事が知られています。

本項目は、心筋や骨格筋の障害の評価や治療経過のモニタリングなどに有用です。

## ▼疾患との関連

心筋梗塞、進行性筋ジストロフィー、横紋筋融解症

## ▼関連する主な検査項目

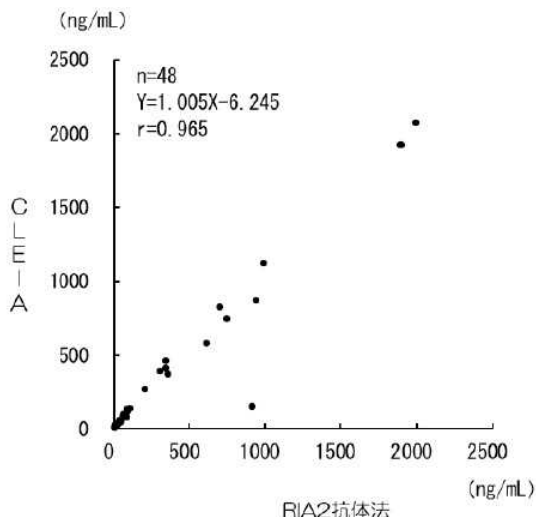
LD (LDH)、CK (CPK)、AST (GOT)、ミオグロビン(血中)、心筋トロポニン T、ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)、CK (CPK) アイソザイム、CK-MB (CPK-MB)、心室筋ミオシン軽鎖 I

## ■検査要項

項目コード	3500
検査項目名	尿中ミオグロビン〔CLEIA〕
検体量	部分尿 6 mL
容器	Y5
保存方法(安定性)	冷蔵 (22 日)
所要日数	3~6 日
検査方法	CLEIA
基準値(単位)	2.0 未満 (ng/mL)
報告範囲(単位)	2.0 未満、2.0~4990000、5000000 以上 (ng/mL)
桁数	有効 3 桁、整数 7 桁、小数 1 桁
検査実施料	139 点*1(「D007」血液化学検査「36」)
判断料	144 点(生化学的検査(I)判断料)
備考	採尿後、速やかに専用容器に入れ、冷蔵してください。凍結は避けてください。
検査委託先	エスアールエル(→5)

\* 1: 2022 年 3 月時点の実施料です。2022 年 4 月より 135 点となります。

## ■新旧二法の相関



(基準値による一致表：単位 ng/mL)

		RIA2抗体法		計
		10以下	11以上	
CLEIA	2.0未満	18	2	20
	2.0以上	4	49	53
計		22	51	73

一致率：91.8% (67/73)

(エスアールエル検討データ)

## ■参考文献

前田 真紀子, 他: 医学と薬学 38(5):1003~1009, 1997. (臨床的意義参考文献)